제609호　1911. 1. 25.

京城新報

人の一生は重荷を負て遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

●朝鮮蠶業と信州

北佐久郡岩村田町の蠶種家にして既往三年間朝鮮に往復して蠶業上の視察を爲したる戸塚巳之助氏は今度大日本蠶絲會より朝鮮の蠶業調査を囑托せられたるに付歸國し長野なる蠶種同業聯合會に向つて蠶種千枚許りを年々寄附する事、朝鮮より送り來る子弟を同縣下の蠶業家に依賴して蠶業上の智識を與ふるの勞を取ること等を議し又生絲同業組合聯合會に向つて朝鮮の成繭を購入せん事を勸誘せる等彼我蠶業上の交渉を附くるの端緒を開かんとせるが氏の談話に依れば朝鮮の氣候は乾燥にして全韓中最も似たるは信州なりと云へり且總督府にても蠶絲奬勵のため年に七十五萬圓許りを投ずる見込みにて如何にして之を最も有益に使用せんか付調査中にて暗に長野縣下より大蠶業家の移住若しくは分家を出さんことを望み居れば總督のものならば相當の便宜を與へらるべし但し永遠の目的を以て爲さざれば大成功を期し難く其次第は土地肥沃桑の栽培に適し又雨期以前に春蠶は上簇するを以て最も春蠶に適すれども朝鮮家屋の狹隘なる先家屋より改造せざれば蠶種を普及せしむること能はずこれ第一の困難にして永遠に其實行を期せざるべからずと云ふ所以なりと氣候宜しく雨なきに付屋外にて飼育すると天日蠶の如くなれば可なるに似たるも朝鮮の蠶蛆の蠅は桑の葉に産卵せずして直に蠶體に產卵するに付屋外飼育は駄目なり兎に角朝鮮に移住せんと欲せば先づ分家を出す積りにて二三千圓の資本を投じ今の中即ち地所安き間に之を買ひ入れ二三年は普通農事にて生活を立つることし徐ろに養蠶計畫を爲すべく內地にて困窮する如き者は朝鮮に渡りても駄目なるに付此邊は能く〱注意すべし資金を待つても目的なしに渡鮮するは危險にして成功せず故に先づ土地を買入れ住むべき家をも建て渡鮮すれば其家族は直に農業に從事するを得るやうに準備して後移るべし云々因に戸塚氏の談とは別なれども朝鮮小縣郡殿城村の田中氏が朝鮮に隱居家をつくる計畫ありと云ふが如き最も妙なるべし

●貨幣整理の經費

朝鮮の貨幣整理に着手したるは去る明治三十八年七月にして爾來政府が引上たる舊白銅貨及葉錢の總高は千四百万圓なるが之れに要したる經費は七十六萬圓にて既に地金の賣却せしもの三百五十萬圓あり其他に未だ賣却せざる地金ある故純損害は約七百萬圓なるも補助貨の利益は此以外なりと云ふ

●所有地と收獲

東洋拓殖會社が現在所有する地所は四分の一拂込と未拂四分の三に對する貸借證に買入れたるものを合せて二萬餘町歩なるが之より生ずる收獲は籾十二萬石大豆二千餘石にして俸給等を除きたる小作の取立料にても四万餘圓を要すとの事なり

●錦山郡の發展

全北錦山郡は交通不便なる避地にして明治四十年頃迄ては內地人の在留する者は守備隊の外一人もなかりしが其後警察署、區裁判所、財務署を置かれたる爲め內地人の移住する者日に增加し今は人口百人を超へるに至りしと

外事一束

●露國　芬蘭沿岸ハンゴ附近に優勢なる海軍根據地を創設し瑞典に於ては非常の不安を惹起し同國の軍備を一大擴張せしむるに至るべしと豫期せらると惟ふに瑞典杞憂のみ豈他あらんや

●佛國　首相下院の傍聽席に在りたる一狂人の爲めに二回狙擊せられたるも幸ひに無事なりしと宗務局長ルマン氏の負傷は職務柄ブリアン氏の身代りにしもあるまじけれど先づ不幸中の幸

●和蘭　政府はウリツシンゲン要塞築造は獨立國の自由の權利なりとし佛外相、代議院に於ける演說の全文を要求したり佛外相は該案を國際會議に附せんと云ひ調練は之れに對して之を國際會議に還さんとす如き和蘭の獨立權を侵害するの計畫に加はるを欲せずと論ず兎に角弱國の强國に壓倒せらるゝ憐れなる哉

●葡國　外相不日外國干渉說は守舊派最後の希望と云ふ國際法理と列國の政策新政府は未だ半上の人に似たり

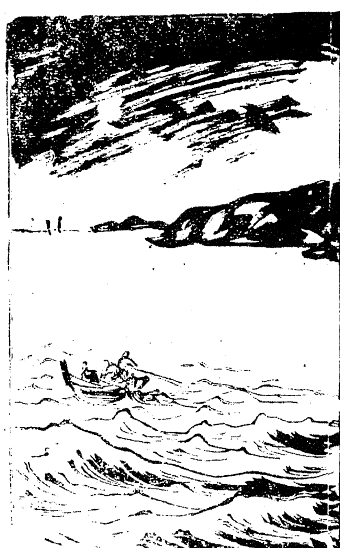
●獨逸　キール港に於て一隻の潜航艇は偶然全速力を以て入港したる爲め途に沈沒したりといふ乞ふ引揚後手帖の記事によりて獨逸海軍武官の心掛の程こそ見まほしき事なり

●紐育　新聞サン紙はカリフォルニヤ州の排日運動に就き言を爲して曰く此運動者は同州排日分子が年々二回宛行ふ示威運動を代表するものにして彼等は同州の對日感情を代表せざるが故に其の號呼する所は重大視すべきものにあらずと左樣の義ならば結構の事なり

●米富豪カーネギー十萬弗を早稻田大學に寄附せんとす流石は米國の巨人なる哉我國人にして徒らに財寶を擁して敢て銀行以外に出さゞる人間共の顏は相立たぬ譯なり

山中鹿之助　六十四回　西尾麟慶演

此時毛利の間者徳市が持參爲したは、斑猫と云ふ毒藥、醋酒に入るれば、之を飲む者即死爲す、冷酒に入るゝ時は毒和かにして飲む者肉悉く碎け、只骨と皮のみ殘り三年にして死すると云ふ恐しひ藥があつたもので、尤も歐羅巴抔では惡事も進歩致して居ります、或る姦婦が本夫を殺すに就て、劇烈に利ぬ樣徐ろに毒がまはり死ぬやう、然して證據の湮滅を計ると云ふ手段で、ソープの中に硝子の粉名を少しづゝ入れまして、自然と胃を弱くする樣に巧み、遂に三年目に殺したと云ふ後に解剖致して此、奸策を發見致しました、此時、徳市は冷酒の中へサラリと其毒藥を投じ、素知らぬ顏で琵琶を彈じました、傍に居りました寺本半四郎は餘り深く酒も飲みませぬ故、欄に凭れて風に吹れ醉を醒して居りましたが、見る氣もなくヒヨイと顧りた時、手探りながら徳市が銚子の中に何か入れるやう、然し毒藥とは氣が付きません、鹿之助に兵庫之助夫に早川鮎之助の三人が此時庭を運動して座敷に歸つたばかりで、其冷酒を大盃で二三度飲みましたが、堪るものではない暫くして兵庫之助がアッと一聲、後ろに倒れる、其傍に居た早川鮎之助が、ムーと云ふと是も夫へ倒れながら 早「山中殿、心を付けられイ、吾々兩人毒酒に中つた、と云はれて山中鹿之助大ひに驚き人々の面を見ればコハ如何に、早や紫色となりて、七顚八倒苦しむ有樣 鹿「殘念千万、鮎之助兵庫之助は勿論、此の山中鹿之助許の侍が毒殺されるとはソモ何者の仕業であると四邊を見廻した時に寺本半四郎、ワカ〱と夫へ入り來り、突然徳市を捉へて捻ち伏せ、寺「如何に徳市、最前汝銚子の蓋を開き何か投せしは此の寺本確に見たり當家の柱石の臣を毒殺爲す事惡みても餘りあり、其方何者に頼まれかゝる惡計を施せしか眞直に白狀致せ」、と 其時盲人徳市カラ〱と笑ひ 徳「吾々誰とか思ふ、毛利元就の近臣にして太田徳市と申す者、當家の執頭尼子九郎左衛門と心を合せ、汝等を亡さんとの謀計首尾能く參りて芽出度、今合圖を爲して汝等の主人義久を捕虜にせん、是れ見よ、と云ひながら火入を取て立上り、懷中より取出したる火藥へ此の中に投じると、合圖狼煙空に金龍の蟠るが如く、之を見て沖に控へし早船飛ぶが如く雲州を指して急ぎ行く、寺本半四郎大きに驚き 寺「憎き盲人が謀計、せめては當の敵各々寄て一刀つゝ恨みたまへ、と鹿之助に突きつくれば、徳市更に動ずる色なく 徳「毛利公の眼鏡を以て某に大事を仰付けられる段、身にとつて名聞至極、此の期に及んで何んぞ命を惜まんやイザ切れ、と盲人とは云へど徳市が更に卑怯たる樣子も御座ひません、鹿之助若しき中にも之を見て 鹿「天晴徳市、主の爲に命をすてゝ此の危道を行ふ、其方は大忠臣である、最早尼子の運命今日に盡きたるか是のみ殘念である、と云ふかと思へばバッタリ前へ倒れて其儘息は絶ゑました、





横道兵庫之助に早川鮎之助の二人は大ひに怒り 二人「責て汝を冥途の道連れに致しくれんと、苦痛を忍んで一刀を引抜ぎ、此の徳市をズタ〱に切殺しました、血刀を提げたる横道兵庫之助が寺本半四郎に對ひ 兵「寺本氏、其許は幸に毒酒の難を免れたまふ、一刻も早く富田の城に立歸り、我君を敵の手に渡さゞる樣守護爲し玉へ 寺「委細心得たり、必ず御心痛遊ばすナ 其時早川鮎之助は 早「寺本氏、吾々見苦しき亡体を遺すは死後の恥辱、是れ見たまへ、と云ふと欄干より身を躍らして海中にザンブとばかり飛込だ、兵庫之助も遲れはせじと是も欄へ足をかけ今や身を投せんとせしを寺本半四郎が押止め 寺「横道氏其許には御內室浮舟殿と御座る依て其許の亡体はせめて御內室に葬らせ玉へ、と止める裡に動と倒れて事きれました、寺本半四郎、餘りの事に一時茫然と致せしが、猶豫いたす場合でない、若しアノ早舟にて九郎左衛門に注進爲せば、御主人義久公彼等の毒手に落つるは相違なし、直に鹿之助の乘馬朝妻に乘つて富田の城を指してゆく

東京電報

▲今期議會の觀測 (廿四日發)
政友會と桂内閣との妥協は舊冬に於て大体決定し近來桂西園寺兩侯の會見に依りて内閣は全く安心の立場に至りたるが政友會の領士は内閣の基礎に影響を與へざる程度に於て部分攻撃を爲さんとするものゝ如く而して右攻撃點の第一は朝鮮問題にあるは明にして幾多の緊急勅令及び財政處分に就て手厳しき質問を加へ財政處分に對しては不當と認むる旨決議し緊急勅令に對しては承認を與へず尚は廢軌案に對しては鐵道普及に障害を與へざる程度に於て之を動かさんとする方針をとる意向なりと觀測さる

▲外相の外交演説
小村外相は本日衆議院に於て外交演説をなせり

▲下院豫算總會
二十三日衆議院豫算總會開會桂大臣以下政府委員出席各部員より豫算問題、軍備擴張案、廣軌鐵道案、對清貿易案、製鐵所擴張案に就きて詳密なる質問あり之に對し各所管大臣の答辯ありたり

▲衆議院豫算會議
廿三日衆議院に於て豫算會議を開き元田、大石兩氏と桂首相、齋藤海相、小村外相、大浦農相との間に財政、海軍治水、募債、關税、清國の利權獲得國防、韓國併合始末等に就き問答を重ねたるが本日より本會議を開く

▲政府の議員牽制
後藤總裁は廣軌案に對して議會が同意を與へざる場合には鐵道計劃の全部は茲に破壞し各地方人の熱望せる新線布設の爲に計上せられたる豫算も自然撤回せられんと辨明し暗に地方の關係を以て議員を牽制しつゝあるが元來附帶法案は憲法上の一大禁物なりと後藤總裁の攻撃盛んなり

▲事後承諾案
韓國併合に關する緊急勅令の事後承諾案は本日の本會議に付せらる

▲我海軍の弔意
獨逸東洋艦隊司令官ギユーレル中將は香港に於て死去せしを以て我海軍にては弔意を表せり

▲都督府の防疫
關東都督府にてはペスト豫防のため奉天に防疫本部を設置す

▲日露と防疫策
日露使臣よりの提出議に係るペストに關する防疫策は未だ決定に至らざるも防疫區域に關しては二十二日使臣側に於て交渉を遂げたり(二十三日)

▲萬國衞生博覽會
獨逸ドレスデンに於て開會の萬國衞生博覽會に本邦より出品すべき統計に屬する統計病圖書は此程竣成を遂げたるを以て二十四日同局内に陳列し廣く一般の觀覽に供せり

總督府報

●長官會議
二十四日午前十時二十分より總督府に於て長官會議開會山縣總監、石塚、倉富、木内の各部長官、小松、小原、鈴木の各局長、小城、岡本兩長官代理、中野警務總長代理列席政務の打合せを爲したり

●漁業法改正內議
朝鮮に於ける漁業法は餘りに簡單にて取扱上不備の點少なからざるを以て農商工部にては改正の内議あり目下該草案の起草中なりと

●普通學校增設
來年度に於ける普通學校の增設は約百ケ所の豫定にして例の恩賜金より生ずる金利内一分五分を充當する筈也と云ふ

●授産施設方針
朝鮮全道に下附せられたる恩賜公債千七百萬圓の利子八十五萬圓は其五分の三を授産資金に一分五厘を教育費に五分を凶歉救濟に充當すへしとの事は恩賜の御趣旨によりて一定し居れるものなるが此内授産の施設に關するものは過日の技術官會議に於て略は決定をなしたる如く主として蠶業の施設に費さる由にて其方法は養蠶の主要地に蠶業講習所一ケ所づゝを設立し其下に蠶業傳習所及稚蠶共同飼育所を設け講習所は之れが統一及管理を掌り以て養蠶の普及に努むる筈なりと云ふ

●防疫本部と委員
防疫委員部新設の事は昨報の如くなるが同評議員には藤田總督府醫院長鈴木司稅局長小原地方局長小城鐵道局技師岡本通信局長代理夫れ〳〵任命されたるが同評議員はペスト豫防に付警務總監部防疫委員部よりの情況報告其他豫防計劃等に關し評議を爲し而して之れを實行委員部總監部に通付するにありと云ふ

●防疫彙報

▲京城府廳の講演 二十四日午後一時より京城龍山の坊長を府廳に參集せしめ檜垣道長官、警務總監部より宮尾一等軍醫同本警部臨席ペスト豫防に付講演會を開きたり

▲豫防心得の配布 ペスト豫防に關する防疫心得(極めて簡易なるもの)目下警務總監部に於て十万部印刷しつゝあるを以て近く一般に配布すべしと

▲鼠族買上と罰則 去る二十二日より實行したる京城に於ける捕鼠死鼠を所轄警察署又は派出所に屆出でざるものに對する罰則は一兩日に發表すべし

●ペスト豫防應援 新義州に於けるペスト豫防事務應援の爲めに二十三日憲兵二十名出張したることは既報したるが二十四日更に憲兵十名同地へ出張せり

議員候補者漫評　△△生

▲釘本藤次郎君 君は元老と新進との双生兒にして孰れにも都合好き位置と資格を有す而して學問の素養は固より深からざるも其圓滿に發達せる常識と堅確なる意志に就いては人皆推服して措かざる處なり而して君の發達の斯如きは身を卒先手に起し浮世の辛酸を甞め盡くせる賜物にして其將來や最も囑目すべしと稱せらる聞く本町通の市區改正は君が滿腔の抱負にして今同候補に立つるも其目的貫徹の爲め也と

▲松永達次郎君 在留正さに二十五年頭髮雪を欺くの概あるも成點に於ける君の健闘は壯夫尙は及ばざるべし隨て其意氣の盛んなる亦以て驚くべし而して民團政に對する氏の意見は比較的穩和にして必ずしも元老に與みせず然ればとて少壯氣鋭の新氣運にも加擔するなく常に中庸を歩しつゝあり

▲高橋章之助君 前代議士前東京府會議員前東京市會議員前東京市區改正特別委員前東京市辯護士會常議員議長等枚擧に遑あらざる程前の字を有す而して目下當地に辯護士を營み傍ら農業開拓の事に從ふ聞く庄之助時代の君は常に改進黨の旗頭なりしと云ふも今は全く老成して寧ろ八面玲瓏の人となりぬ思ふに其前の字に見ても京城の民會には必要の人物たるを失はず故に若し當選せば確かに民會の一異彩たらんか

▲中島司馬之助君 熱血は君の長所なり而して若し短所ありとせば此熱血の結果たらずんばあらず民會に於ける君は必ず問題每に討論を試み議論窩の一人と稱せらる而して能く研究し能く論ずるが如き恐らく君の右に出づるものなからん今回西部より推薦を受け其候補に立つ思ふに好個の代表者たるべし

●恩賜金管理と銀行
二十四日訓令第五號を以て臨時恩賜金管理規則第三條の銀行は韓國銀行とすべき旨公布されたり

◉晋州三千浦間輕鐵取消
昨年四月を以て許可されたる晋州三千浦間の輕便鐵道は起工期間内に着手せざりしため失效となり該許可は取消の旨本日の官報にて發表されたり

●漁業と總督府 東拓
東拓會社の經營に屬する朝鮮平安南道飴鰯網漁場問題に關し福岡縣知事より朝鮮總督府に對し照會する所ありしは既報の如くなるが右に對し總督府より概要左の如く回答したり
目下該會社に對し事實調査中なるが該問題に關しては官民間の事情疎通せざる狀況ある爲め各方面にても往々誤解を來し居れるやも計り難きに付實際の狀況を明瞭にする爲め單に書面の往復のみに止めず此際特に主任を派遣し本部及東拓會社に對し實地を調査せしめられたし云々

●六農銀の成績
昨四十三年下半季に於ける各農工銀行の營業成績を聞くに何れも前半季に比し好成績を示せり配當及次季繰越金左の如し

	配當	次年越金
光州	一割	七千圓
全州	一割	六千圓
咸鏡	一割	二千圓
漢湖	一割二歩	五千圓
慶尙	一割二歩	六千圓
平安	一割二歩	一萬二千圓

市原總裁の談話

韓銀改善の問題に關し總裁市原盛宏氏は其昵近者に語つて曰く此頃世間に韓銀條例改正の事が專ら噂されるが右が果して事實となるか否かは余の知るところに非ず、併し若し事實となつて現はれたところが余の立場は唯だ改正條例の下に働きさへすれば良いのだから何も差支は感ぜぬ、併し世間には何も知らずに余の**進退**に就いて云々する者があるが斯は以ての外の事で余としては此際余の立場を明かにして置かねばならぬ。一体余が韓銀の總裁に就任したのは元の度支部次官**荒井氏の懇請**に因つたもので余としては寧ろ第一銀行明渡しの際に大石良雄を學びたかつたのであつた、餘人は兎に角荒井氏は余を信ずる事極めて厚く余も亦荒井氏の知を感ずる事極めて深く新設韓銀の經營困難なることを知らざるに非ざるも荒井氏の勸誘默止し難く同氏の顔を立つる爲に余儀なく引受けたのであつた、斯る次第で就任したのであるが扨愈局に當つて見るとドコにもある**小姑**と云ふ奴の八ケ間敷事は非常なもので此小姑共の操縦は余にとつて迷惑の一ツだ、併し根が小姑だけに大した事は無いのだから五月蠅事はウルサイがあまり重きは置かぬ、韓銀定款の改正に因つて重役の**俸給手當**を減ずると云ふが斯は株主の勝手で余の關せざるところだ、一体世人は韓銀の冗費冗費と大騷ぎをするが現在の韓銀には冗費は一厘も無い積りだ、騷ぐ者は何か爲にするところがあつて騷ぐので余は意に介せずだ、韓銀の**重役**の**素行**、コンナ事も或る向で**問題**になつて居るソウだが兎角世の中が小さくなるとコンナ事迄が問題になるのは笑ふべき事だ、要するに此度の韓銀條例改正と余の進退とは何等關係はない、余にして去らんと思へばイツでも去る、余豈に小姑共の鼻息を窺ひ一日の安を偸むものならんや。

●韓國銀行の改善
政府が韓國銀行改善の爲に同行條例の改正案を今期議會に提出すべきは既報の如くなるが改正案にして議會を通過し一度法律とならんか同行の定款も改正せらるべく從つて同行從來の營業振其他に改善の來るべきは明瞭なる事實なるが今或向きに於て改正の要旨として傳へらるゝところのものを擧ぐれば左の如し

一、政府の金庫事務を完全に扱ひ得るの資格を有せしむる事
一、朝鮮に於ける純粹なる中央銀行とならしむる事
一、總裁以下役員の俸給手當を減じ冗費を要せざることゝなす事
一、理事をして各局長を兼任せしめざる事
一、重役中に實務に當るべき事務理事及支配人を置く事

●貨幣發行高週報
一月十五日より同二十一日に至る發行高左の如し

銀行券總發行平均高	一九、二三三、〇四三
内 正貨準備發行平均高	七、〇二〇、〇三六
保證準備發行平均高	一二、二一三、〇〇七
硬貨發行高(一月二十一日現在)	八、一三七、二九〇
内 金貨二十圓	一、八五〇、〇〇〇
同 十圓	五〇〇、〇〇〇
銀貨五十錢	一、三四一、五〇〇
同 二十錢	一、九九二、〇〇〇
同 十錢	一、八七六、〇〇〇
白銅貨五錢	五六六、〇〇〇
青銅貨一錢	三四六、四二五
同 五厘	八五、三六五

●關釜連絡貨物專用船
現在の關釜連絡設備は海陸共に不完全にて少しく貨客輻輳すれば忽ち連絡の不圓滑を來し殊に貨物は船舶の構造が專ら客船向に出來居れる爲荷役に困難なるのみならず多くの時日を要し爲に兩地の埠頭に貨物の堆積を來す事殆ど常とする有樣なり朝鮮併合以來京阪神地方よりの移入貨物頓に增加したるのみならず移出貨物も亦逐年增進の勢ひあり目下一日平均移入三百噸移出二百噸計五百噸以上の連絡貨物あるに至りたる爲此際貨物專用汽船を建造して今後益々增加せんとする貨物の連絡に供せんとする議鐵道院内に起り遠からず具体的案件として現はるゝ模樣なり

●忠北地方近況
忠清北道地方は引續き平穩なるが新附民保護の趣到らざる所なきより何れも生命財産の安全を悅び漸次貯蓄心の發達すると同時に職業に就き游惰徒食の徒は日を逐ふて減少の傾向なりと云ふ

●經濟協會例會
廿三日午後六時京城ホテルに開會市原幹事長始め會員廿餘名出席食後齋藤技師の朝鮮森林談あり十時散會せり

●市原總裁東上
市原韓銀總裁は二月二十四日東京銀行集會所に於て開會さるゝ韓銀株主總會に出席の爲め島尾秘書役を隨へ二十六日午後十時四十分南大門發列車にて東上すべし

●檜垣道長官下仁
檜垣京畿道長官巡視の爲め二十四日午後下仁久水府尹中野事務官宮館警察署長樋口民長代理奥田民會議長の出迎を受け久水府尹の案内にて海岸通より府廳に入り休憩の上日鮮の各學校及谷中精米所茂木醬油醸造所其他重なる各工場を巡視し午後一時より民團樓上に於て商業會議所議員民會議員一同に對し一場の訓話をなし同夜は俱樂部に一泊二十五日午前歸廳せし筈なり

●土木課長の更任
内務部地方局土木課長は小原局長の兼掌なりしが今回總督府技師阪出鳴海氏同課長兼務を命ぜられたり

●矢野稅關長入京
矢野鎭南浦稅關長は廿三日入京浦尾旅館へ投宿せり

●村田第二分隊長
村田第二分隊長には雪の北漢山を見るべく二十四日出張登山し同處分遣所視察の上一泊二十五日歸隊の筈なり

●團債償還決議
二十三日の京城民會に於て理事者提出の追加豫算は異議なく原案の通り決定したるにぞ東拓より借入れたる團債を以て舊團債三口悉く償還する事となりたれば二十四日右決議認可を監督官廳に向つて申請せり

選擧界の側面觀

▲西部の五分演說 二十三日夜西部候補者全部出席して五分間演說を試み海津中島兩氏の挨拶に次ぎ深水淸氏登壇予は京城日報餐業主幹にして議員候補に立ち聊か說明の要ありとて此位置を利用して官民の融和を計るべく吹聽し池長氏は新時代の要求する人物如何と自問自答盛んに氣焰を吐き會衆我氏は代議制度は貴論の鮮重なり故に予は饒舌を以て立たんと言ひ榊原氏は予の皮革商なるを目し反對派の者噂若りに予を穢多なりと譏ゆるも決して穢多にも非ず華族にも非ずと辯解大いに力め高橋氏は京城の將來と大陸的位置を論じ恰かも帝國議會の壇上に在るが如し最後に大村氏現はれ高橋氏ノ所論を敷衍し後松浦三好兩氏代理の挨拶あり水を浴びせらるゝが如き寒氣の裡、會衆約二百名實に盛會なりし

▲演說會と當局 西部候補中の廣舌連發起となり自治政に關する政談演說會を開かんとし豫め本町警察署に屆出でしが同署長今村警視は大に此舉を賛し彼の徒らに旗亭に賑く有權者の歡心を買はんとする競爭に優さる萬々なりとし演題及日時を具し出願すれば何時にても許可すべき手筈なりしに其發起人等は個人運動に神經衰弱を起し中止せる由實に腑甲斐なき人々のみなり

▲東部のバツチルス 東部候補者石井新氏曰くナニ世間で噂さする程夫んなに東部は亂調子ではないが併し太刀合ひ切り合ひ惡戰苦闘の爲め多少の傷を受くる其傷から例のバツチルスが浸入する懼れあるも此石井が控へて居て消毒豫防充分手を盡くして居るから大丈夫と得意の衞生論を試みつゝあり

▲井出候補の孤奮 本町一にパアートメントストアーを開始せる井出三郎氏は一騎打として黃金町明金湯に事務所を設けたり

▲東部の別動体 東部大和町日の出町を包容せる一團体起り總監部前に事務所を設けたり其黑幕の誰れたるかは參謀の顔觸に見ても知るべし

●大阪人會 二十二日松葉亭にて開き大阪人會にては民團議員候補者に小林藤右衞門、三好和三郎、石井新、木島平兵衞、松浦源治の五氏を推すに決し獻を盡して散會せしは午後十時頃なりき

民團議員豫選投票(廿四日正午迄の通計)

票數	氏名
八三五五票	三好和三郎
五四五八票	和田常市
五二一六票	中村再造
四八二四票	高橋章之助
四一五七票	松浦源治
四一四〇票	古城梅溪
四〇五三票	山口太兵衛
三八七七票	前田熊市
三六五二票	榊原長績
三五七五票	皆川廣濟
三三一〇票	釘本藤次郎
三〇五三票	木島平兵衛
三〇二五票	增田三穗
二七〇〇票	近藤佐五郎
二五七三票	田村義次郎
二三八五票	關繁太郎
二三二〇票	池田長兵衛
二三〇三票	城六太
二二一五票	深水清
二二三七票	秋吉富太郎
二一一五票	中島司馬之助
二〇〇八票	森勝次
一九三六票	伊藤友松
一九二五票	石井新
一六九三票	田中始一郎
一四三一票	大村百藏
一三〇八票	大坪文吉
一二九五票	田中常二郎
一二八五票	古迫角次郎
一一四八票	益永十作
一〇三五票	海津三雄
九二〇票	德久米藏
九〇五票	大村保太
八九八票	梶原末太郎
八八三票	池田長次郎
八七〇票	進辰馬
八六二票	粂古禮三
八五三票	淵上貞介
八二六票	村井甚七
八一三票	佐々正之
八〇七票	渡邊五郎

五 堀内武治　五 壽村吾市　五 村田多忠　五 中上五郎　五 大橋常次郎

注意 前號に發表せし得點者にて點數の其儘なるものは本日の表に加へず本日よりは八百點以下の得點者は新候補者以外は不掲載

二十五日締切結果は二十六日號外にて發表すべし

▲京城手形交換高▼

	金高	枚數
一月廿四日	九六八、六六一、四五	三九三



活動寫眞　復面子

●朝の南大門驛　二十四日朝　朝風身に沁みて鏡の如く凍つた道は心なく歩める、口邊白朵を綴づる白衣の人、牽けた牛は老ひて脚下は危ない。無情の笞は雨の如く下る。あゝ見るに堪へない、南大門外、一團の車夫は古襦を家根に蓋んで焚火を爲しつゝある光景ば、正に之れ箱根山中の山賊の住家もかくやと思はれる、停車場は淋しい、三等室中の小舖の女顔に人の亂を與面に見渡す、たきもじさまと云ひたいね

一等室には、巴城館の保々樣、横田樣　●蜜柑の進物籠があつなど、傍らに相澤碧次と名刺を挿んだヵゴ、手荷物扱所に、只二三の行李があつて、奥の暖爐にすくの人は一人の女とンが居る。迫め行李を擔ひて入來られた、納ぎ太郎、或は兵庫縣尼ヶ崎豐田淺吉の札あつ行李や、朝鮮人の大包やに初上に陳列して、驛夫が暖爐の談話は中絶され活動の人となつた。

●一團の防疫軍

茲に恐ろ、或十餘名の防疫軍は正に武歩堂々として今や正に猖獗なる彼の滿洲ペスト軍の國境侵入を防壓せんとして進軍するのである、見よ黒軍の猛烈なる攻擊を、彼れは北滿を起點として長春に迫り一擧南下して大連旅順を犯し、更に右翼京奉線を經て天津北京を襲ひ左翼安奉線を占領して鴨綠江岸に迫り、虎視耽々機に乘じて我朝鮮に侵入せんとしつゝある、其諸方面に於ける防禦は殆んど其効なく、死屍累々道路に横たはるの悲惨を極め、今や鴨綠江畔義州の地、彼れが手は將に下らんとす。

●統軍亭上　明石將軍の軍令、能く敵を擯擢して、諸君の勉勵、凱歌を奏して歸還せられん事を望むのである

●諸君乞ふ自愛せよ

いゝ、午前九時、釜山行列車は去つた、が釜山よりの列車は着かぬ、約四十分の遲着であると掲示せられて北行の人は柵内に頸を延ばして寒むさうであつた、

●民團議員選擧笑報　選擧

●活動寫眞應用　期日が近くに伴れて珍案妙計の數を盡すこそ面白けれ、窮すれば通ずるの比喩もある名刺の撒布や運動員の成績報告に疑惧の念を抱きたる大村保太池田長次郎の二君一夜溫突の下をウーンと焚かせて額を鳩めて合議したる末破天荒の妙計を案出し早速人を高等演藝館に馳せて幕間借用を申し込んだるに金に糸目を附けない注文なれば一議に及ばず相談纏まつた其の夜よりドロン〜の山颪ならぬプーカプー〜ドン〜の音樂に伴れて茲に映し出しましたる二人、方れこそ何を隱そう右の方は大村保太、左の方は池田長次郎と申されまして今回京城居留民團議員總改選に當り衆望を負ひて西部候補者として陣頭に立てア發てば錚々たる獅子吼を發する紳士で御座いますの其の人と爲り溫厚篤實、識見該博トンマアニインヌンサラミたる事は夙く諸君の知らるゝ處なれば敢て茲に喋々いたしません唯だ篤と御見知りの程希望致します。エヘンと、而して其の樂れる人は悉く是れ白衣の人、傍人曰く智惠も出せば出るもの哉

●鳩山春子の續出　林田金次郎氏夫人が常の引き籠り勝ちなるに似ず花々しき活動振りは既報の如くなるが此れに勝るとも劣らぬ目覺ましきは彼の木島平兵衞氏の北の御方、護謨輪の人力車をさへガラ〜云はせての東奔西走以つて其の勢の凄ましさを思ひ知るに足るべし

●名刺代一千餘圓　京城に民會制度の設けられしより既に二十五年を經る、而も今回の如き競爭は曾て見ざる處なりとは某元老の語る所にして現に各候補者とも有らん限りの手段を講じ最も名刺の撒布に努め居れるが先づは一萬二千枚少きも八千枚を下らずと云へは通算五十萬枚の多きに達し之れを百枚平均五十錢と見積れば無慮の金額に二千五百圓撒

●異彩ある大學名刺　撒布せられつゝある五十餘万枚の名刺悉く千篇一律なる中に在りて獨り万丈の異彩を放てるものを中部同志會推薦の小林藤右衛門氏肖像入の名刺なりとす大學目藥の廣告氏の容貌に類似す故に人呼んで大學名刺と云ふ

●學生上の僞特務

▽鮮人八人組み　京城北部避馬洞四十統二戸無職景元補(十九)は黄海道の生れなるが數年前笈を負ふて當地に來り通譯官たらん目的にて外國語學校に入學したれど早くも都會の惡風に感染し終に墮落し國許よりの送金も停止されたる結果良からぬ了見を起して自から特務補なりと僞稱し一儲けなさんものと同志を募りしが類は友を呼び早速加名したる面々は左の七名に上り盛んに他の賭博とか男女の關係とか又は秘事を摘發して官名を詐稱して出事を働きつゝありしを第二憲兵分隊の特務薩摩吉本二氏の探知する所となり八人を珠數繋ぎとなし目下嚴重に取調中なり

京城南部草洞八十統七戸　無職　洪祐範(三二)
京城北部昌城洞五十三統八戸　無職　張文煥(三四)
京城北部石橋統戸不詳　無職　姜俊命(三〇)
京城北部昌城洞五十三統一戸　無職　金相俊(二二)
京城南部小龍洞九十七統八戸　無職　玄聖替(三七)
京城北部避馬洞四十統二戸　商業　趙南吉(二二)
京城南部倉洞　朴準容(二三)

●青年の自殺未遂　二十三日午後四時頃京城西部龍山坊青坡三契の畑中電車線を去る西方約二丁の地點に於て自殺未遂ありたり其の顛末を記せんに自殺未遂者は兵庫縣朝來縣粱瀨村生れ大田垣勝良(三〇)にして自殺の手段は五寸五分の小刀を以て咽喉部の兩側を刺したるも絶命に到らず爲めに畑中にある栗木の枝にて縊死を謀りたるも目的を果さず苦悶中なるを青坡三契二十九統八戸姜昌晳なる者に發見され急報に接したる西部署より警部代理棚橋司法主任警察醫を隨へ現場に出張檢視せしが原因は昨年十一月迄滿鐵大連に於て和洋雜貨商を營み居りしが失敗の結果四萬圓餘の損失を生じ破産して本月十二日仁川に到着一時下宿居に滯在二十二日京城に來り請所に於て傍せしが遂に死を決し自殺を謀りし由にて目下漢城病院に入院せしめ治療中なるが同人は最後に左の如き遺書を認め居たりと

吾元來蒲柳の質に有之所謂華陀扁君を以てするも撒く活難き腦神經衰弱の重患に惱み病と鬪ふ事茲に十有餘年間實に悲惨の境遇を辿り來り申候生きて此の憂愁に沈まんよりは死して以て此の華陀を捨んに加かず茲に此最後を止め申候洵に御厄介相煩し候事恐惶措く處を知らず候何卒御前し被下度候小生の姓名原籍申上るを鄕里に對し慚愧に堪へず候幸に一片の御同情を以て小生微衷御洞察被下度候さあれ小生は法律上の罪を犯したる事更らに無之候病苦事茲に至り候義に外ならず候恐惶謹言　一薄命

御係官御中

吾臨候成形　四大今歸空
將首當白及　裁斷一陣風

●二人強盜　南部明哲坊南小洞百八統四戸銅硯分署巡查補孫某方に妻及子供一人にて留守中に二十三日午前二時頃二人の強盜兇器を携へ亂入し來り家人を脅迫して現金十餘圓外物品三點を掠奪して逃走したりと

●歌留多會の發會　今般在京龍山陸軍側の歌留多嗜好者はげし會を組織し龍山柳町一丁目白木氏方に會場を設置し今や猛烈に練習中の由尚仁川村雨會にては會場を宮町有馬氏宅に置き是亦練習に余念なき由にて來る三月には一大歌留多會開催の筈也

●仁川の鼠買上數　二十三日の買上總數百六十九頭金額五圓七錢

●下宿屋組合發會　大和町一丁目榮屋館山本角次郎氏外數名發起にて廿三日南山町一丁目都館に會合京城下宿業組合創立の件及び素人下宿屋取締方其筋に請願の件尚廿七日下宿同業者總會開催の件等決議の上散會せし由

●演藝だより

●歌舞伎座　同座廿五日の藝題は数育眞輪てふ奇抜極る新劇の由

●京城座　兄弟義團廿五日の出し物は一番目相撲の達引女俠客全九幕にて尚二番目は喜劇彌次喜多道中の由

▲平民文屋▼

▲私は昨秋渡鮮して未だ着實な營業を見出しませんが中流以下の質屋の讓り物は有りませんでしようか若し有らば本欄迄御通知下さい直接參堂御相談す(質屋識受渡生)▲貴紙配達をモー少し早くして貰ひ度い僕等の宅には十二時頃でなければ來ないドーカ配達夫に勉強させて貰ひ度い(愛讀者)▲可及的迅速に配達させます難有樣(小僧)▲昨今は名士の京城だと云ひ度いが實は名刺の京城だ四十有餘の民團議員候補者は多數の老朽無能者又は一攫千金のガリガリ亡者と小數の新進氣鋭の名士との大混戰其運動員が振り蒔く名刺はさながら年賀名刺の再來かと思はる兎に角常識ある有權者諸子は彼等の誘惑に迷はず堅實公實なる新進の名士を選擧し我民團會の革新を期するが肝要なり(選良外史)▲龍山候補者も今日の混沌たる有樣に候右は投票場問題主なる原因にて外に候補者撰定に付ては已に過日來一決せしも德久米藏氏絶對に候補を拒絶し居る爲め未だ確定せず同氏は同地の元老として且德望家に有之同氏の拒否は有權者に多大の感を與へ候右に付運動者以外の有志者より種々交渉の結果承諾せし由に候(龍山運動生)▲ホヽ入釜敷し事于(小僧)▲山師病院の困窮太平町川村病院に對する投書は沒(小僧)▲〇町北嶋藥店の御主人樣藥九層倍とやらで少々しこたためたって餘りイ張ると裂けて舊惡が飛び出ますよ(同類)▲仁川歌舞伎座に開演中の島之助一座の出物と出掛け例之通り本家茶屋から這入るとツムジの曲つてい相な下駄番が木戸から入りなさいと拒絶した▲聊か癪に障つたが此權幕に臆まだ拔かれ木戸へ廻つた▲恰度菅原の白太夫賀の祝の場で松王梅王喧嘩の最中で成程役者は一寸揃つて居るが櫻丸が切腹の時女房の八重は丸で成つチャいない▲高士の方に鱗の別嬪が一揃居たが眼に着いた僕の前にも一高士の小富士と一弁が旦那筋と共に見て居た▲僕の樣な無粋者でも矢張り美しいのは美しく見ゆる遂に一枚しか無い外套の裾を火鉢で燒く處だつたが小富士からオヤあなたと聲かけられて火災の難は免れたテモマア(田舍者)

今日の運勢

一月廿五日(舊十二月廿五日)●五黄赤口乙未破△一白新事旅行嫁住婚談金談貸借の事効擧らず金品授受に故障あり△二黑平和の日大凡支障なし婚談共同逆帶祝典宴會に尤も好し△三碧運背多き日人を信任し計畫目論見創始の事愼しむべし倫盜難遺失注意の事△四綠沒要領に了らんとす新事及談判裁判請願競爭談合事効無し△五黄●投機的及酒色の害を愼しむべし新築旅行見合せの事△六白●家庭及知友間に紛爭を醸す勿れ他は靜事平和の日●七赤●雇入れ婚談子孫の事を擧ぐるに忌む他は進んで吉△八白●移轉業轉付に吉他は扣へ目の事△九紫●出費多し他は平和の日務に水利礦山金屬の業務に尤も好適(三一館判斷)



諸公債諸株券 現物賣買 近海[illegible]實に御取扱可申候兼業

京城本町三丁目 大坂野村德七代理店

田中友吉商店 電話九三九 電略（タ）

京城居留民會議員候補者（イロハ順）

林田金次郎君
和田常市君
中村再造君
山口太兵衛君
松永達次郎君
増田三穂君
小林藤右工門君
秋吉富太郎君
城六太君
森勝次君

也

右推薦候

中部同志會

京城居留民團民會議員
西部候補者（イロハ順）

池田長次郎君
大村保太郎君
海津三雄君
高橋章之助君
曾我勉君
中島司馬之助君
松浦源治君
深水清君
榊原長緒君
三好和三郎君

也

右推薦候

明治四十四年一月 日

西部有權者選擧事務所

京城居留民團民會議員
東部繁榮會候補者（イロハ順）

石井新君
大橋清三郎君
梶原末太郎君
田村義次郎君
釘本藤次郎君
淵上貞助君
古城梅溪君
近藤佐五郎君
木島平兵衛君
關繁太郎君

也

右推薦候

明治四十四年一月 日

東部繁榮會

清酒 正宗 釀造元
政則 正元

上酒 小賣壹升に付三十錢

卸賣は特別割引可仕候

清酒 味淋 燒酎 並に日用食料品雜貨類

京城壽町三丁目
釀造元 中井酒造場販賣部 電話百七十七番

電話にて御注文の際は一升以上は店員をして速達致さすべく候

廣告

エーリッヒ、秦、兩氏發見

梅毒新藥六〇六號

右研究ノ爲醫員上京中ノ處今般歸院ニ付注射治療ヲ開始仕候

仁川病院（電話十六番）

質

京城太平町二丁目三番元黒澤邸跡確實の擔保低利貸金融通す並古物賣買

宮永金藏 京城支店

質

京城旭町一丁目度支部官舍向側横路突當

旭町二丁目自府廳裏路曲突當

壚見質店

瓦斯コークス販賣

京城黄金町高等演藝館隣

酒井組 電話一一四九番

◉貸金

旭町二ノ一五 別府組事務所向小路 高橋

有給者にて極秘密に低利融通可申候

腦病全治新藥

醫學博士島村先生有効證明

健腦丸（けんのうがん）

一百粒 拾錢 …… 丹平商會藥房



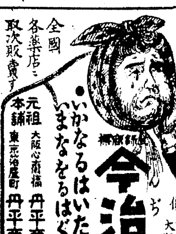
今治水（こんぢすい）

●いかなるはいたでもいまなをるはぐすり

藥價 小瓶七錢 中瓶十五錢 大瓶三十錢

全國各藥店にて取次販賣す

元祖 大阪心齋橋 丹平商會本店
本舗 東京油屋町 丹平商會支店



入院隨意

內科 外科 小兒病 梅毒淋病

高井醫院

京城壽町三丁目 電話（二二六）

院長 陸軍軍醫正 高井貞治

小兒かんむしの良藥

効能 ○ひかん○むしけ○ちゝあまし○ひきつけ○ねあせ○ちはなれ○かべつち○をかむ○かほてあし○りなごに大効あり



保壽圓（ほうじゅゑん）

價五錢●十錢●二十錢●五十錢

本舗 大阪堂島濱通 高橋盛大堂藥房

全國到る所の藥店に販賣す

代理店 京城本町五丁目 木下大盛堂
同南大門通三丁目 新井藥房

酒精アルコール

直輸入元 仁川花町一丁目（電話六五〇番）（電略サ）

坂倉支店

東京足袋



本店 東京

京城大和町一丁目（日の出橋際）

大和屋 藤井出張店 電話二百〇五番

正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

朝鮮牛種及牛乳改良元祖

消毒 純良 高等牛乳

當場飼畜の乳牛は悉くエーアシヤ、ゼルシ、ホルスタイーンの最も優逸なる洋牛而已なるが故搾取する所の牛乳は極めて純良無比なり

當場畜舍及殺菌室等其他一切の設備の完全なる他に比類なし

當場には種畜牛數頭飼養致候間種付御希望の方は御申込被下度候

當場には御進物用牛乳切手發賣致候

其他牧畜に關する一切の業務は叮嚀懇切に取扱可申候間御用命之程希上候

京城南大門外 荒井牧場（電話一〇五六番）

龍山本町三丁目 龍山販賣所（電話二〇二番）

家傳 名灸（といや）

●うちみ くじき はねつき

特に胃腸病 かつけ 專門

毎日午後二時迄點灸す

明治町一丁目百十番戸

荒川マッサージ院

義齒術一般

京城明治町一丁目（森、村質店隣）

榊忠司 取次電話六六九番

移轉開業謹告

◉井出百貨デパートの發展◉

嚴寒之候愈々御清適慶賀至極に奉存候陳者弊店儀從來新龍山に於て營業罷在候處現今商業之趨勢に鑑み今般地を京府目拔の府廳前に撰び式を歐米のデパートメントストワーシステムに倣ひ之に新進の頭腦と商的武士道之意氣ある適任者を配し顧客本位薄利多賣主義を以て愈々本日より移轉開業仕候間何卒一度實地に於て如何に小店が奮勵努力仕候かを御試の上末永々御引立相蒙り度開業之御挨拶を兼ね御願申上候

尙聊か開業を祝する爲め破格廉價之正札より更に一割五分引を以て本日より向十二日間大賣出し可仕候間此際賑々敷御光來多少共御用命之程伏して御願申上候

一月二十日

京城府廳前（本町一丁目）

歐米諸雜貨 洋酒食料品 文房具運動具 直輸入商 井出支店百貨デパート 電話（二）三四九番

本店（京城黄金町） 支店 鐵原、大連

（御婦人のもの御兒供衆のもの何んでもある安い店）

廣告

一佛國レロイ社製壁紙各種

一英國ランカスター無地リノリユーム

一ボンメル蝶番各種

右多數貯藏致居候間御注文願上候

京城ヱルロンドン商會

明治四十四年一月

吉岡信太郎 電話九九五番

東京建物株式會社京城派出所

資本金五百萬圓

本店東京日本橋區吳服町

支店派出所 橫濱 天津 釜山 京城

營業科目 土地建物抵當貸附 月賦償却建物建築 土地建物賣買紹介

京城旭町二丁目百十五番戸 電話番號一六八一番

弊館には夜警の設備有り

陸軍指定旅館 仁川海岸

鐵道院指定旅館

仁川水産組合指定旅館

第一各保險會社指定旅館

旭屋旅館 電話二五一

御客様の安全此の上なし



商標 名殿 希四海 深見吟醸

光鳳

釀造元

仁川宮町三丁目

深見勝三郎

電話二四八番 電信略號フ

M.C.C.

エムシーシー

土耳古 紙巻 上等

專賣局の定價は百本に付金五圓貳拾錢なるも朝鮮內は大安賣

京城、平壤鎭南浦屋……釜山、木浦、群山高瀨支店

英米煙草會社京城代理店

千代田相互保險會社京城代理店

京城本町貳丁目

和洋金物商

佐野彥藏商店

電話一六三 振替口座番號一二〇番

洋釘、亞鉛板、銅線、鐵線各種土工用具農具一式〇仙德火鉢鑄物火鉢各種生花用具一式〇建築金物一切其他鍋釜鑄物類一切

恩給年金 諸公債券 其他物品 立替 賣買

確實取引月一歩五厘

京城ト部番地坊相恩同廿九號七戸 鐘路通り東洋生命保險裏丁 博多屋

上州屋支店 電話九〇五番

純良消毒牛乳

京城東四軒町 岡野牧場 電話千六十九番

池坊生花教授

今般諸君の御便利の爲め左記の所へ出張所を設置候に付御希望の方は御申込被下度候

南山町四丁目

一光齋秀庵

龍山驛構內 今井宅

京城新町 難波宅

滋養 高等牛乳 壯

京城南大門外 韓國畜産會社 強

電話八八番

莖齋流割烹

すゞ津祢

南山町二丁目 電話千五百二番

キ 一月中出帆廣告

海州 安來丸 廿三日、廿七日、卅一日
天草丸 廿五日、廿九日
屯串 行
三省丸 廿二日、卅日
成歡丸 廿四日、廿八日
千葉丸 廿六日
喬島 行
千葉丸 二月一日
成歡丸
三省丸 廿六日
九味浦 行
海利丸 廿一日、廿九日

仁川本町四丁目

秋田商會船舶部